

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	06	0402	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治の香りあふれるまちづくり					
対象	市民 観光客					
意図	賢治および賢治のまち花巻の魅力を感じてもらう					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 <事業内容> 施設設備の補修、更新 ・冷水ポンプ交換修理 ・空気調和機修理 ・南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替 ・南斜花壇照明設備修繕 ・屋外排水管用布設替 ・空冷チラーユニット入替工事 ・備品購入（プロジェクター交換、ベビーベッド等）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業	件	計画		6	
			実績		7	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	宮沢賢治イーハトーブ館入館者数	人	目標	32,000	40,000	40,000
			実績	32,452	31,959	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成18年度以降の当館利用者数は減少傾向にある。このため施設の老朽化を解消する整備を行いながら、まずは入館者維持を目標とし、賢治記念館リニューアル、生誕120年イベントに絡めた外部要因を契機に利用者増を最終的な目標として位置付ける。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	宮沢賢治イーハトーブ館は市の施設であり、市で整備を行うことが妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	宮沢賢治イーハトーブ館の整備を行うことによって、来館者の満足度が向上すると思われるほか、運営を行っている宮沢賢治学会イーハトーブセンターの事業遂行にあたっては達成度が向上すると思われる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	効率的な設計を行うことにより事業費は最小限に抑えられると見込まれる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	宮沢賢治イーハトーブ館の整備により、市民及び観光客にとって花巻の魅力が向上するため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	<input type="radio"/> 適正である	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
宮沢賢治記念館をはじめとする賢治関連施設及びその周辺の地域一体を「賢治胡四王の森」と位置付け、賢治関連施設については、各館のコンセプトを明確にしながら、宮沢賢治生誕120年である平成28年を目標として整備の検討を進めている。 宮沢賢治イーハトーブ館は「賢治さんを学ぶ」をコンセプトにした施設であるが、平成4年の整備後22年が経過していることから、施設の破損、機器の老朽化等が進み、来館者への不便、宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営にそれぞれ支障をきたしてきているところである。 今年度においては、目標として設定した成果指標（入館者数）に到達出来なかったが、H27年度の宮沢賢治記念館リニューアルオープンに続き生誕120年記念イベントの開催など当館の来館者増加が見込まれるイベントが続くことから、設備機能の保全・向上、美観の向上（外壁塗装）、施設の長寿命化が図るよう引き続き事業を実施し、来館者の満足度を向上させることが、入館者数の継続的な増加に繋がると考える。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 藤原康之 内線 365

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	06	0402	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			19,607		19,607
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		19,607		19,607

事業期間	単年度繰返	○	期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	---	------	--------------------

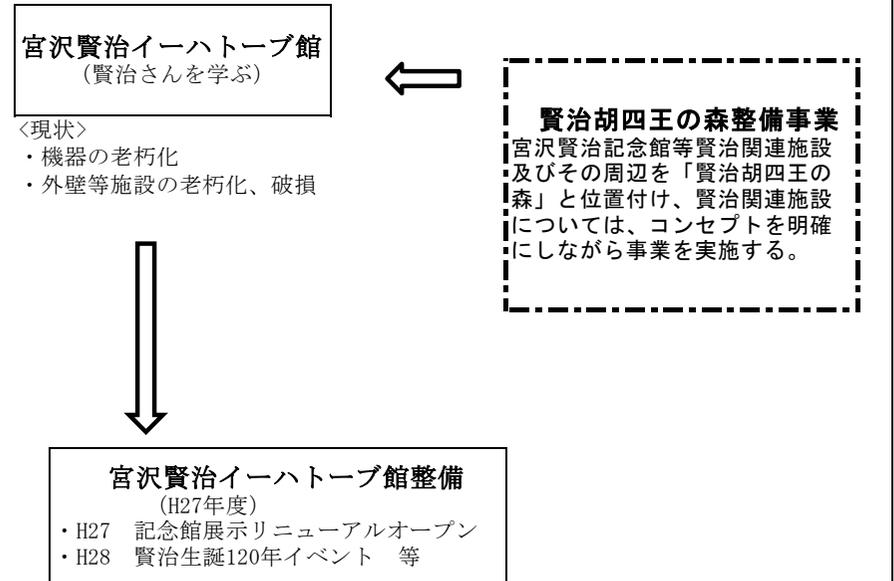
部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
宮沢賢治イーハトーブ館は平成4年の竣工で建築後22年が経過し、施設・設備が老朽化している。宮沢賢治生誕120周年記念事業に備えるため、宮沢賢治イーハトーブ館の施設更新整備事業を行い、設備機能の保全・向上、美観の向上（外壁塗装）、施設の長寿命化を図る。

事業概要
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業
＜事業内容＞
施設設備の補修、更新
・冷水ポンプ交換修理
・空気調和機修理
・南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替
・南斜花壇照明設備修繕
・屋外排水管布設替
・空冷チラーユニット入替工事
・備品購入（プロジェクター交換、ベビーベッド等）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
施設の老朽化が進んだことにより修繕が必要な箇所が多く、安全面や長寿命化の観点から早期の改修が必要であると考え。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【事業費内訳】

修繕料	冷水ポンプ交換修理	470
	空気調和機修理	2,754
	南斜花壇浄化槽放流ポンプ取替	792
	屋外排水管布設替	1,479
	南斜花壇照明設備修繕	473
委託料	空冷チラーユニット入替工事設計	346
	南斜花壇照明設備調査	11
工事費	空冷チラーユニット入替工事	12,582
備品購入費	プロジェクター等	700
		19,607